Rotary International District 2510

Rotary District 2510

# GOVERNOR's Monthly Letter

Volume 4

# 10月発行

2026

2026-2027　ガバナー月信









エゾノコンギク

地域社会の経済発展

地域社会の経済発展月間/米山月間

北海道西部 RID2510

国際ロータリー第2510地区

2026-2027年度ガバナー 古野 重幸

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7階

TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512　e-mail : rid2510@pxva.ne.jp　https://rid2510.org

# 2026-2027年度　第2510地区メッセージ
# [Discover your joy in Rotary]




オラインカ・ハキーム・ババロラRI会長ご夫妻と古野重幸ガバナーご夫妻

## ガバナー月信 vol.4（10月号）目次


| | |
|---|---|
| ガバナーメッセージ | 1 |
| 塚原房樹パストガバナー追悼 | 2〜4 |
| ガバナー公式訪問報告 | 5〜18 |
| 第2510地区親睦野球大会 | 19 |
| 社会奉仕委員会報告 胆振東部地震復興応援プロジェクト | 20 |
| 地区大会プログラムと会場について | 21 |
| 地区大会のご案内 | 22・23 |
| 2027年バルセロナ国際大会のご案内 | 24 |
| 米山奨学生紹介 | 25 |
| 米山記念奨学会寄付 | 25 |
| ロータリー財団寄付 | 25 |
| 新会員紹介 | 26 |
| ガバナーノミニー候補者推薦のお願い | 26 |
| 訃報 | 27 |
| 8月会員数・例会報告 | 28 |
| 地区カレンダー（10月・11月） | 29 |
| 表紙について | 30 |



ガバナーメッセージ

# 平和構築
## ―地区大会「指導者育成セミナー」のテーマです

国際ロータリー第2510地区
2026-27年度ガバナー

古野 重幸
（札幌 RC）

アポロ14号に乗船し、月面を歩いた6番目の人間となった米国NASAの宇宙飛行士エドガー・ミッチェルは次の言葉を残しました。「We went to the moon as scientists；we returned as humanitarians.(月へ向かうときは技術者だったが、帰ってきたら人道主義者になっていた)」。宇宙飛行士の多くは、宇宙の空間にたとえようのない調和を感じ、青く輝く母なる地球を目にしたとき、エドガー・ミッチェルのように人生観を大きく変え、なかには宗教家になる人もいます。そこには当然国境を定める線はなく、人間が勝手に作った国境を隔てた争いは、余りにも愚かに感じるそうです。実は私はそのエドガー・ミッチェルに2度会ったことがあります。一度は彼のフロリダの自宅に訪ね、一度はその後函館で行われたイベントで。確か1992年日本青年会議所の全国大会が函館で開催され、地球環境問題をテーマに行う主要イベントに基調講演者としてお招きしました。宇宙からは汚染された河川や海洋もよく見えるそうです。地球環境の悪化は気候変動をもたらし、その影響により過激な自然災害が世界のあちこちで発生し、多くの尊い命が奪われています。

地球環境問題の本質は、私たちが加害者であると同時に被害者である点にあります。30年程前にドイツ・シュトゥットガルトのホテルに宿泊した時に、浴室の壁に詰め替えタイプのシャンプーやボディーソープが備え付けられてあり、その横に「Please dedicate for yourself（自分自身のために捧げて下さい）」というプレートが貼ってあるのを見て感動しました。自分たちが環境に良いことしたら、自分たちに返ってくる。逆も真なりです。

では、平和構築に関しては、私たちはどの様な立ち位置で、どの様な心の態度で、どの様に行動すべきでしょうか。幸い日本においては先の大戦後戦禍を被ることなく過ぎて来ましたが、世界各地では紛争が絶えず多くの無辜の命が犠牲になっています。戦禍を経験したことのない私たちはその悲惨さを想像し得ず、平和の有難みも実感出来ません。

平和構築はロータリーの大切な目的の一つです。今月10日から開催される地区大会の初日には、指導者育成セミナーにおいて、平和活動家として注目されているサヘル・ローズさんをお招きして基調講演をいただき、その後平和をテーマにパネルディスカッションを行います。このセミナーを通じて私たち一人ひとりが平和構築に対して何が出来るかを考える機会になれば幸いです。多くのメンバーの参加をお待ちしております。

# 訃　報

## 塚原　房樹　2005-2006年度　地区ガバナー（札幌東RC）が、7月14日、ご逝去されました。謹んでお悔やみ申しあげます。



【略　歴】
1935年10月7日生
1953年3月　旭川東高等学校卒業
1957年3月　早稲田大学第一法学部卒業
1959年4月　(有)青樹社設立
1971年4月　(株)ホクビー設立
2003年5月　(株)ホクビー　顧問
2003年6月　(有)青樹社　代表取締役

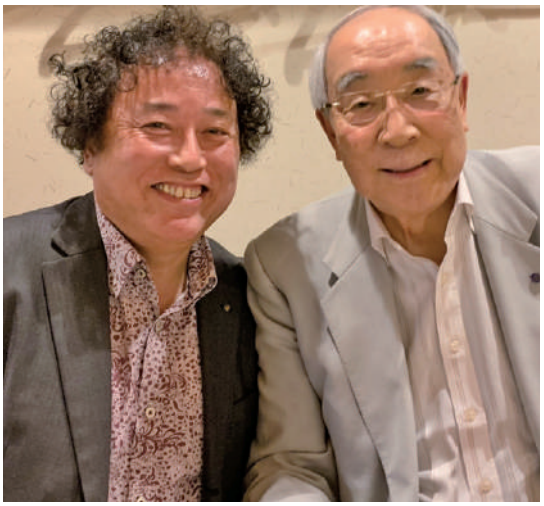
【主なロータリー歴】
（クラブ）
1977年1月27日　札幌東ロータリークラブ入会
（職業分類：食肉加工）
1983-1984年度　幹事
1997-1998年度　会長

【表　彰】
ロータリー財団：メジャードナー、ベネファクター、ポール・ハリス・ソサエティ
米山記念奨学会：米山功労者マルチプル

（地区）
1988-1989年度　地区幹事
1990-1992年度　地区社会奉仕委員長
1992-1993年度　地区幹事・地区リーダーシップ養成副議長
1995-1997年度　地区情報委員長・地区史編纂副委員長
1998-2000年度　地区職業奉仕委員長
2000-2003年度　地区文献資料室室長
2002-2004年度　ロータリー100周年記念委員
2005-2006年度　地区ガバナー
2009-2012年度　地区研修リーダー
2010-2023年度　日韓親善会議委員
2013-2020年度　米山記念奨学会理事
2014-2015年度　地区史編纂委員長
2015-2016年度　RI第一ゾーン理事指名委員
2016-2018年度　地区研修リーダー

# 塚原房樹樹パストガバナーを偲ぶ　本気で叱ってくれた人

直前ガバナー　玉井清治（函館亀田RC）



7月14日、私が心から尊敬し、ロータリーの師と仰いできた塚原房樹パストガバナーがご逝去されました。訃報に接してから、塚原パストガバナーとの思い出が次から次へと蘇ってきます。今、この原稿を書きながらも、涙を抑えることができません。

1935年生まれ90歳の塚原パストガバナーは、ご高齢になられても背が高く、いつも背筋がすっと伸びた、実にスマートな方でした。その凛としたお姿には、塚原パストガバナーの生き方そのものが表れていたように思います。

塚原パストガバナーは職業奉仕に精通され、その深い見識と情熱あふれる講演は全国のロータリアンを魅了し、各地から講演依頼が絶えることはありませんでした。私も、その講演に魅せられた一人でした。「職業奉仕とは何なのか」「ロータリーとは何なのか」その答えを知りたくて、塚原パストガバナーの講演を聴くために、日本全国を追いかけました。そんな私に2014年、塚原パストガバナーから「玉井君、地区の職業奉仕委員会に入らないか」と声をかけていただきました。そして翌年には、地区職業奉仕・基本理念委員長にご推薦いただき、その後5年間、委員長を務める機会をいただきました。振り返れば、あの一言が私のロータリー人生を大きく変えたのだと思います。

委員長時代、分からないことがあるたびに電話をしました。すると、いつでも快く会ってくださり、ロータリーの歴史や職業奉仕、そして何より「ロータリーの本質」を教えてくださいました。会えば、いつも美味しい食事をご馳走してくださいました。私は遠慮もせず、何でも質問しました。時には愚痴まで聞いていただきました。そして、間違ったことを言って、大きな声で叱られたこともありました。それでも、塚原パストガバナーは一度も私を見放しませんでした。未熟な私を叱り、励まし、そして、いつも温かく見守ってくださいました。今になって思います。あれほど本気で叱ってくれる人が、人生に何人いるでしょうか。

2019年のロータリー研究会にも誘っていただきました。会議が終われば銀座で食事をし、塚原パストガバナー行きつけのBARへ。夜が更けるまで、二人でロータリーを語りました。富山まで講演を聴きに行った時には、講演後の関係者からのお誘いを断わられ、私と白川郷の合掌造り集落を訪ねてくださいました。あの日、一緒に歩いた風景を、私は生涯忘れることはないでしょう。

塚原パストガバナーが執筆された論文を一冊にまとめ、『来し方行く末』という本を発刊できたことも、私の大切な宝物です。何度も二人で打ち合わせを重ね、一冊の本に仕上げました。全国から注文が相次ぎ、5,000冊が瞬く間に完売し、増刷することになった時の喜びも、昨日のことのように覚えています。

そして、私のガバナー就任が内定した時。塚原パストガバナーは自分のことのように喜び、お祝いの食事をしてくださいました。「玉井君の晴れ舞台の地区大会を楽しみにしている」その言葉を、私はずっと楽しみにしていました。しかし、その願いは叶いませんでした。病に倒れ、入院され、地区大会にお越しいただくことはできませんでした。それでも塚原パストガバナーは、500名を超える大晩餐会のために、上川大雪の大吟醸を、各テーブルに載せきれないほど贈ってくださいました。会場に並んだその酒瓶を見た時、私はすぐに分かりました。「塚原パストガバナーは、ここにいる」。壇上から客席を見渡しながら、本当はこの会場のいちばん前の席に座っていてほしかった。晴れ舞台を見てほしかった。そして、終わった後にいつものように「玉井君」と声をかけてほしかった。それだけが、今も心残りです。

塚原パストガバナー。私は、まだまだ聞きたいことがありました。まだ教えていただきたいことがありました。そして、もう一度、一緒に食事をしながらロータリーを語りたかった。もう電話をしても、あの声を聞くこ

とはできません。もう叱っていただくこともできません。そう思うと、寂しくてなりません。けれど、塚原パストガバナーから教えていただいた「ロータリーの本質」は、私の中に確かに残っています。だから私は、これからもロータリーを学び続けます。そしていつの日か、私も誰かに尋ねられた時、塚原パストガバナーが私にしてくださったように、自分の知っていることを惜しみなく伝えられるロータリアンでありたいと思います。それが、長い年月をかけて育てていただいた私にできる、せめてもの恩返しだと思っています。

10月7日。その日は、塚原パストガバナーのお誕生日です。その大切な日に、札幌グランドホテルで「偲ぶ会」が開かれます。もう「お誕生日おめでとうございます」と直接お伝えすることはできません。けれど私は家内とともに伺います。これまでいただいた、数えきれないほどのご恩に感謝を込めて。教えていただいたことに感謝を込めて。叱っていただいたことにも感謝を込めて。そして、塚原パストガバナーと出会えたこと、そのものへの感謝を込めて。塚原パストガバナー。たくさん教えていただきました。たくさん叱っていただきました。たくさん笑わせていただきました。そして、たくさん可愛がっていただきました。本当に、本当に、ありがとうございました。10月7日、家内と二人でお別れに伺います。でも、それを最後のお別れだとは思いたくありません。どうかこれからも、空の上から私のロータリー人生を見守っていてください。そして私が間違った道へ進みそうになった時には・・・。あの背筋をすっと伸ばした、いつものお姿で、あの大きな声で、もう一度、「玉井君、それは違うぞ」と、叱ってください。

心からの感謝とともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

## 塚原房樹パストガバナーを偲んで　　冷静沈着で的確な指導

札幌東ロータリークラブ会長　出倉恵隆

2005-2006 年度に国際ロータリー第2510地区ガバナーを務められました札幌東RCの塚原房樹会員（札幌東RC第39代会長）が、2026年7月1 4日、満90歳でご逝去されました。私たち会員一同、深い悲しみに包まれております。

塚原パストガバナーはいつの時も冷静沈着。クラブ内にあっては私たちに的確なご指導をくださり、永年にわたりお力添えをいただきました。誠実なお人柄と確固たる信念から溢れるスピー チ、たくさんの論文は、クラブ内外を問わず、数多くのロー タリアンの心に刻まれております。私たちに常々「ロー タリー とは何か」「職業奉仕とは何か」というロータリー の原点を語っていただき、そして、ロータリーの本来の目的を「人作りの場であり人生の道場」と表現し、また、ロータリーの例会について「俗世でのしがらみから離れ、日頃付けている仮面を外し、素の自分となれる場所。そして、己の未熟さを実感し、自分を磨く場所」と本質をついた説明をしておられ、まさに無問自説。塚原パストガバナーが一番大切にしているロー タリアンのために繰り返し、繰り返し説いているお姿、今はとてもなつかしく思われます。これまでロータリーの発展と理念を伝えるため 格段のご尽力を賜りましたこと、ありがとうございました。さらに今後もご活躍とご指導をと思っていた時の訃報に、悲しさが心の底からしみじみ湧き出て参ります。塚原パストガバナーの金剛のご意志を私たち札幌東RCは引き継ぎ、次代のロータリークラブの運営へとつなげてまいります。

塚原パストガバナー　あなたはロータリーに学び、ロータリーを真に愛した方でした。

ここに塚原房樹パストガバナーのご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

# ガバナー公式訪問例会報告

## 江差ロータリークラブ　7/14(火)




古野重幸ガバナー、武部幸紀地区代表幹事をお迎えして、7月14日、公式訪問例会が開催されました。

古野ガバナーからは、地域に密着したクラブを目指し、

①ロータリアンとして各自の喜びを見出して下さい(楽しくなければロータリーではない)

②活動を通しての出会いや地域貢献(自分が何のためにロータリーに属しているか)

③人の為に尽くせる人間になれるか、人から世話をされる人間になれるか(人生を決める生き方)

④自分以外の世界にどれだけ社会奉仕できるか(ロータリー活動はいろんなチャンスを持っている)

といったお話をいただきました。武部地区代表幹事も交え、食事を取りながら様々な意見交換し、情報共有ができました。楽しいひと時でした。

## 森ロータリークラブ　7/29(水)




第2824回例会にて古野重幸ガバナー、武部幸紀地区代表幹事をお迎えしガバナー公式訪問例会が行われました。

ガバナーより「ロータリーとは」について貴重なお話をして頂きました。諸先輩からいただいた言葉に今もなお共感しロータリー活動を続けていると話されました。会員減少の話題では会員数が増加している多団体を例に挙げるなど、当クラブも考えさせられる機会をいただく例会となりました。懇親会にも出席くださり、とても気さくなガバナーと代表幹事に緊張もほぐれ楽しい時間となりました。



# ガバナー公式訪問例会報告

## 函館五稜郭ロータリークラブ　7/31（金）



第2673回例会に、公式訪問をいただきました。古野重幸ガバナーは、冒頭、熊本県で発生した地震による被災者へのお見舞いを述べるとともに、第2720地区（熊本・大分）からの支援要請を受け、第2510地区として義援金協力を呼びかけました。

続いて自己紹介として、札幌RC所属であること、お母様が函館出身で、自身も少年時代にたびたび函館を訪れていたことから、「函館は第二の故郷」と感じていることを語られました。また、16歳の時にロータリー青少年交換留学生としてオーストラリアへ派遣された経験が、その後の人生や事業経営に大きな影響を与えたことを話され、「現在の自分があるのはロータリーのおかげ」と感謝の思いを述べられました。

講話では、多くのガバナーが掲げる「原点回帰」というテーマについて触れ、ロータリーの原点は「職業奉仕」にあると強調されました。特に、「Enter to Learn, Go Forth to Serve（入りて学び、出でて奉仕せよ）」という言葉を取り上げ、例会で多様な職業人から学び、自らを磨き、その学びを職業や地域社会へ還元していくことがロータリーの本質であると説明されました。

世界的な会員減少にも言及し、特に先進国で会員数が減少している現状を紹介。一方でドイツでは会員数が増加しており、その背景には職業奉仕の理念が大切にされ、ロータリーでの学びや人脈形成の価値が広く認識されていることがあるのではないか、と分析されました。

さらに、今年度の地区メッセージである「Discover joy in Rotary（ロータリーの喜び・価値を発見しよう）」について説明されました。ここでいう「joyは楽しさだけではなく、友情、自己成長、奉仕活動の達成感、社会貢献の実感など、人それぞれがロータリーの中で見出す価値や喜びを意味するとし、「自分にとってのロータリーの価値は何か」を考えてほしいと呼びかけられました。




また、ロータリーは単なる親睦団体ではなく、「職業人が集い、互いに高め合う組織」であると述べ、「魅力ある人が集まるクラブは、さらに魅力ある人を引き寄せる」として、会員一人ひとりが自己研鑽に努めることが会員増強にもつながるとの考えを示されました。

最後に、国際ロータリーの行動計画である「より大きなインパクトをもたらす」「参加者の基盤を広げる」「参加者の積極的な関わりを促す」「適応力を高める」の4つの優先事項を紹介し、ロータリーの価値を再認識しながら、学びと奉仕を通じてクラブのさらなる発展につなげてほしいと結ばれました。

# ガバナー公式訪問例会報告

## 白老ロータリークラブ　8/4(火)




白老RCは1979年創立、現在の会員数は32名、うち女性会員4名で、30代から80代まで幅広い世代の会員が在籍し、平均年齢は60歳です。

長年クラブを支えてきた経験豊富な会員と、ロータリー歴の浅い会員がともに活動し、「楽しくおいしい例会」を大切にしていることも当クラブの特色です。

8月4日、古野重幸ガバナーをお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。当日は、福山眞司地区副代表幹事、山本浩平第12グループガバナー補佐、加藤泰久ガバナー補佐幹事にもご出席いただき、例会に先立ち会長・幹事懇談会を行いました。

懇談会では、クラブの現状や今後の活動について意見交換を行い、本年度の活動方針「Enjoy Rotary, Create Local Impact ～楽しみながら、地域に持続可能なインパクトを～」についてもお話ししました。

例会では、古野ガバナーより「Discover your joy in Rotary」をテーマに、ロータリーの原点や職業奉仕、奉仕することの中に喜びを見出すことの大切さについてお話をいただきました。交換留学の経験や米山梅吉翁、日本のロータリーの歴史、ご尊父とのエピソードなどを通じ、私たち一人ひとりがロータリーに所属する意味や、それぞれの「joy」とは何かを改めて考える貴重な機会となりました。

今回の学びを今後の活動につなげ、世代や経験を越えて会員同士が力を合わせ、楽しみながら地域に根ざした活動を継続し、次世代へつながるクラブを目指してまいります。



# ガバナー公式訪問例会報告

## 洞爺湖ロータリークラブ　8/17(月)




8月17日、古野重幸ガバナー、武部幸紀地区代表幹事、早瀬芳宏第9グループガバナー補佐、鈴木敏則補佐幹事をお迎えしてガバナー公式訪問が洞爺湖万世閣にて開催されました。

まずは会長・幹事懇談会、例会の前に洞爺湖町役場を訪れ、当クラブの会員でもある下道英明町長を表敬訪問され「北海道・北東北」の縄文遺跡群ユネスコ世界遺産登録等のお話を伺いました。

会長・幹事懇談会では早瀬ガバナー補佐の司会進行でクラブの活動状況や今年度の運営方針、今後の奉仕活動について古野ガバナーと意見交換を行いました。ガバナーからは「例会の充実」、特に卓話を進めて欲しいとお話があり、地区事務局に卓話出動可能な方のリストがあるので活用して欲しいとのことでした。

少人数の当クラブがこれまで取り組んできた地域貢献活動、青少年育成、地域との交流にご理解をいただき、今後の活動に向けてクラブとしての結束をさらに深めることができました。

その後の例会で古野ガバナーの卓話があり、その中で「与えることによって自分に返ってくる喜びを見い出す」という言葉に感銘を受けました。和やかな雰囲気で例会も進み再認識できたガバナー公式訪問となりました。ありがとうございました。




古野ガバナーご一行で、洞爺湖町長を表敬訪問しました

# ガバナー公式訪問例会報告

## 伊達ロータリークラブ　8/18(火)



古野重幸ガバナー、武部幸紀地区代表幹事、早瀬芳宏ガバナー補佐、鈴木敏則補佐幹事をお迎えして8月18日ガバナー公式訪問が行われました。

会長・幹事懇談会では、望月孝一会長や鈴木敏則会長エレクト、池田茂樹幹事が合席、会長より当クラブの会員50名（女性2名）、野球、ゴルフ、月1回のお酒を交えた夜間例会を通じて会員相互の交流をしていること、地域の少年野球大会開催を通じ次世代への奉仕活動をしていることを報告しました。また、クラブの現状や高齢化による会員減少課題などをガバナーに相談させていただきました。古野ガバナーからは、多くのご意見やありがたい激励をいただきました。

例会では、古野ガバナーのとても有意義な卓話をうかがい、最後に望月会長の謝辞で終了しました。

例会終了後は伊達市長への表敬訪問を古野ガバナー、武部地区代表幹事と共に行いました。

ご多忙中にもかかわらず、クラブ訪問をいただき、会員一同心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 室蘭北ロータリークラブ　8/18(火)




古野重幸ガバナー、武部幸紀地区代表幹事そして第９グループ 早瀬芳宏ガバナー補佐、鈴木敏則ガバナー補佐幹事をお迎えして、８月１８日、ガバナー公式訪問が開催されました。

例会に先立ち、会長・幹事懇談会を行い、会長エレクトを含めた全員の自己紹介の後、斉藤聡会長からクラブの現況や会員数の推移、クラブの特色・活動状況などの説明をしました。また、地区への要望として、DXを活用したクラブ事務作業の効率化への援助等をお願いしました。会合は、斉藤会長が４０数年前、初就職先でガバナーの会社と縁があったことなど昔話に花が咲き、終始和やかな雰囲気で会談を終えました。

その後の例会では、例年と異なり来賓入場の形式はとらず着座のまま点鐘。オープニングセレモニーでは会員へのバースデーソングを一緒に斉唱して頂きました。会食後の講話では、まずロータリーの原点「職業奉仕」について触れられ、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」「超我の奉仕」など、ロータリーの理念を熱く語られ、職業奉仕について改めて考える機会をいただきました。

また、交換留学生でオーストラリアに行き人生が変わったことや、なぜ例会で「君が代」が斉唱されるようになったかなど、大変興味深いお話もしていただきました。　古野ガバナー、誠にありがとうございました。

お身体にお気を付け、公式訪問が無事完遂されることを祈念して公式訪問例会報告とさせていただきます。

# ガバナー公式訪問例会報告

## 室蘭ロータリークラブ　8/20(木)




8月20日、古野重幸ガバナー、武部幸紀地区代表幹事、早瀬芳宏ガバナー補佐、鈴木敏則ガバナー補佐幹事をお迎えしてガバナー公式訪問を開催しました。

室蘭RCは近年会員数が減少傾向にあり2022年には26名となりました。しかし逆に入会間もない若手会員の意見が通りやすい状況となり、「三世代会長・幹事会」ならびに「未来ビジョン会議」の立ち上げや、「キッズあきない」の実施、企業支援金の創設、正会員・名誉会員以外に準会員、賛助会員など複数の会員種の新設などといった改革を短期間のうちに実行できました。

「三世代会長・幹事会」は3年度にわたる会長・幹事による協議の場で、未来ビジョン会議はそれを発展させて会員全員による協議ができる場です。目的は会長・幹事の負担を軽減し、経験の浅い会員でも会長・幹事となれるようにすることです。

「キッズあきない」は小学生を対象とした事業で、市内の商店街を利用して他団体を巻き込みながら3年間で延べ380名の小学生に職業体験をしてもらいました。また、様々な会員種を新設したことにより、現在は29名まで会員数を回復しています。

古野ガバナーからは当クラブの取り組みについて、非常に民主的なクラブ運営をしていると高く評価していただきました。

ガバナー講話として「先進国ではロータリーアンの子息が入会しないなど会員数の減少が著しい。何の目的でロータリーに入っているのか納得できる必要がある」といったお話をうかがうなど、今後のクラブ運営にとって大変参考となる公式訪問となりました。



# ガバナー公式訪問例会報告

## 登別ロータリークラブ　8/20(木)

登別RCにおいて、8月20日古野重幸ガバナーによる公式訪問が行われました。

一行は、午後4時30分から登別市役所を訪問し、小笠原登別市長を表敬訪問しました。出席者は、古野ガバナー、武部幸紀地区代表幹事、早瀬芳宏ガバナー補佐、鈴木敏則ガバナー補佐幹事、佐藤幸夫会長です。懇談では、JC時代の思い出を振り返るとともに、ロータリークラブにおける会員増強などについて意見を交わし、終始和やかな雰囲気の中で有意義な時間を過ごしました。

続いて午後5時30分からは、会場を登別商工会議所に移し、会長・幹事懇談会を開催しました。登別RC出席者の自己紹介に始まり、佐藤会長からクラブの現状や活動内容、今後の課題について説明がありました。これを受け、古野ガバナーをはじめ地区役員の皆様から貴重なご意見や助言をいただき、今後のクラブ運営を考える上で大変有意義な懇談会となりました。

午後6時30分からは、「和か菜」に会場を移して公式訪問例会を開催し、当クラブから16名の会員が出席しました。食事をともにした後、古野ガバナーからご講話をいただきました。

講話では、登別RCが月4回の例会を継続して開催し、活発な活動を展開していることについて、高い評価をいただきました。また、佐藤会長と幹事が入会後間もない中で責任ある役割を担っていること、さらに会員が一丸となって両名を支えていることについても、お褒めの言葉をいただきました。

例会終了後には、同会場で懇親会を開催しました。ガバナーをはじめ地区役員の皆様と会員が親睦を深め、終始和やかな雰囲気の中、交流を深めることができました。

今回の公式訪問は、クラブの現状と課題を改めて共有するとともに、今後の活動や会員増強について考える貴重な機会となりました。ご訪問いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



# ガバナー公式訪問例会報告

## 三石ロータリークラブ　8/24(月)




古野重幸ガバナー、武部幸紀地区代表幹事、山口俊秀ガバナー補佐、不動信之補佐委員長をお迎えし、8月24日、ガバナー公式訪問が開催されました。

講演では、古野ガバナーより「私にとってロータリーとは、人生を豊かにしてくれる『出会い』と『学び』、そして『与える喜び』の場です」とのお話がありました。

16歳の時にロータリーの交換留学生としてオーストラリアで1年間を過ごした経験が、その後の人生や進路に大きな影響を与えたこと、また、ロータリーを通じて得た仲間との友情や学びが、かけがえのない財産となっていることを語られました。

さらに、「ロータリーから何を得るか」ではなく「自分は何を与えられるか」を大切にし、次の世代への支援や地域への奉仕を通して、人の人生を変え、長く続くインパクトにつなげていきたいとの思いをお話しいただきました。

「Discover your joy in Rotary」―仲間との友情、学ぶ喜び、そして人のために行動し、誰かの役に立てる喜びを大切にするというメッセージが、心に残るご講演でした。

今回の貴重なお話を今後の活動の糧とし、会員一同、より一層奉仕活動に励んでまいります。講演後には記念撮影を行い、和やかな雰囲気の中、閉会となりました。




9月５日に三石神社例大祭会場で行われたポリオ募金に、古野ガバナーが駆けつけてくれました

# ガバナー公式訪問例会報告

## 浦河ロータリークラブ　8/25(火)




8月25日午後4時半から、会長・幹事会をさせていただきました。

古野重幸ガバナー、山口俊秀ガバナー補佐、武部幸紀地区代表幹事、ガバナー補佐委員会から不動信之委員長の4人をお迎えしました。浦河RCからは体調を崩されている工藤一康会長に代わり久保佳幸副会長と齋藤洋文幹事が出席。

久保副会長から当クラブの紹介をさせていただきました。

当クラブは、21名の会員で構成されており地域に根ざした活動をし、特に若い世代の人達との交流を重視して地元の高校生と港の清掃活動をし、終了後に皆で焼肉を食べてロータリーの活動を理解してもらっています。12月には家族、友人などとクリスマスパーティーをし、地元の青年部も招待して楽しい浦河RCを周知してもらうきっかけを作ることで会員増強に力も入れていることなどをお話ししました。

午後５時15分からは、久保副会長の点鍾から始まりロータリーソングの「我らの生業」を全員で斉唱し、会長報告、幹事報告、親睦活動委員会から報告、出席委員会の報告と進み、続いて古野ガバナーから卓話を頂戴しました。

卓話時間が1時間くらいあったので、色々なお話を聞かせていただき浦河RC会員も真剣に聞いていました。本当に有難うございました。

午後６時半から、懇親会として例会会場からすぐの「レストランやなぎ」に移動し、山口ガバナー補佐の乾杯で和やかに会食を楽しみました。最後は古野ガバナーの締めの挨拶を貰ったのですが、その時点で出ていない料理があり、締めにならず和やかな笑いのもと、本当の最後として武部地区代表幹事の挨拶をもらい終わりました。

その後、有志で二次会に移動。古野ガバナーと武部地区代表幹事も参加されて楽しい時間を過ごすことができました。浦河RCでは会食の時、和気あいあい、とても楽しく過ごしており、古野ガバナーにその事を知っていただき、本当に嬉しく思います。タイトなスケジュールの中、懇親会にもご参加いただきましたこと、本当にありがとうございました。



# ガバナー公式訪問例会報告

## 様似ロータリークラブ　8/25（火）

創立から還暦を目前とした歴史を持つ我がクラブですが、一昨年より「原点回帰」を目指し、もがいてもがいて、当クラブの髙村洋子会長と玉井清治PG（髙村会長と玉井PGはガバナー補佐同期です）が対話を重ね今日、つな渡り状態ですが、どうにか古野重幸ガバナーをお迎えすることが出来ました。
新入会員と心をひとつに、創始者ポール・ハリスに思いを馳せて、同じくガバナー補佐同期の古野ガバナーからロータリーの真髄を学びました。また、会員増強の目標は掲げられているものの、町自体が人口減少という問題を抱えているなかでの我がクラブの会員減少は、決してまれなことではないとのことも伺いました。会員減少という問題の解決策を見出せない、小さなクラブのあり方について、白熱した話が続き、あっという間に時間が過ぎました。例会の予定時間を大幅に超過し、記念写真を撮ることをすっかり忘れてしまう失態。この報告に写真を添えることができず、深くお詫びする次第です。
古野ガバナーを筆頭にご同行いただいた武部地区代表幹事、山口俊秀ガバナー補佐、不動信之ガバナー補佐委員会代表には、遠路足をお運び頂きました事に感謝申し上げます。

## 静内ロータリークラブ　8/26（水）




8月26日に古野重幸ガバナー、山口俊秀第8グループガバナー補佐、武部幸紀地区代表幹事をお迎えして公式訪問が開催されました。
会長・幹事懇談会では山口央志会長エレクト、長部淳子副幹事、不動信之ガバナー補佐委員会委員長も加わり、当クラブの近年の活動内容について写真を用いながら説明しました。
古野ガバナーは当クラブの河田貢会長が以前在籍していた会社の同期であったこともあり、懇談会は終始会話が弾みました。
懇談会の後に行われた例会は通常の形式で行われ、古野ガバナーから講話をいただきました。その中で、会員増強に向けて3年で30％が退会している状況を改善すべく、ロータリーを通じて交流を深め、ひとり一人が喜びを感じ、居心地の良いクラブを目指すべきであると、話されました。また、与える事の中に喜びを見つけるのは人生の喜びと同じである、とのお話もいただきました。ガバナーのお人柄が伝わってくる公式訪問でありました。

## えりもロータリークラブ　8/27（木）

古野重幸ガバナー、山口俊秀第8グループガバナー補佐、武部幸紀地区代表幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。
例会に先立ち「会長・幹事懇談会」を山口俊秀ガバナー補佐進行のもとに行われました。今年度の活動計画、クラブの現状、会員増強の難しさ、時代とともに変化しなければならないこと、変わらぬロータリーの精神などをテーマに話し合いました。
例会ではガバナーご自身とロータリーの歩みをお話しいただきました。
ロータリーの原点、奉仕、親睦、について会員と意見交換し、大変意義深い例会になりました。ご来訪いただきありがとうございました。

# ガバナー公式訪問例会報告

## 札幌大通公園ロータリークラブ　9/1（火）



9月1日のガバナー公式訪問日、古野重幸ガバナー、齋藤康嗣ガバナー補佐、松下直樹地区副代表幹事の3名がおいでになり、普段の例会場であるF-60ビルの3階会議室で17時30分より会長・幹事懇談会が開催されました。当クラブからは、三浦順子会長、佐藤文彦会長エレクト、菅原秀二幹事の3名が出席し、クラブの特徴と運営状況や会員の増減について検討し、さらに国際ロータリーの動向や地区の状況、ならびに地区大会の予定などについてお話ししていただきました。

その後、同ビルの9階「天空のラウンジ」に会場を移して、18時30分から札幌大通公園RCの例会が開催されました。当クラブの恒例行事である、親睦を図るための「ホットパーティ」を準備し、ガバナーら3人をお迎えしました。食事は当クラブの会員が勤めていたイタリア料理の店「Zili」から特注しました。

食事をし、飲み物をいただきながら、例会は和やかな雰囲気の中で行われました。ガバナーのご挨拶とご講話に続き、自由にディスカッションをしたのですが、特記すべきなのは、青少年交換や財団奨学金、GSE（Group Study Exchange）についてのお話で盛り上がったことです。これは、当クラブには、財団学友や米山学友が多いという特徴に関わっております。特に、当日、函館からZOOMで参加された会員とガバナーの間で、35年ほど前のオーストラリアへのGSEの派遣内容について、興味深いお話が展開されました。

総じて、和やかな雰囲気の中で、でいろいろなお話をすることができて、意義のある公式訪問だったと思います。この場を借りて御礼申し上げます。

## 江別西ロータリークラブ　9/1（火）




9月1日の佳き日、当クラブに古野重幸ガバナー、島義慈ガバナー補佐をはじめとする地区役員の皆様をお迎えし、ガバナー公式訪問（昼）例会を開催いたしました。

古野ガバナーの卓話では、「コップの水位」を比喩に用いた会員維持・増強の視点が示されました。不満による水位上昇を防ぎ、仲間との語らいや奉仕の本質理解を通じて喜びを見出すことの大切さ、そして形式主義にとらわれずルールを簡素化して楽しむ姿勢を学びました。また、同行された出村知佳子パストガバナーからも、会員を鼓舞し楽しませるリーダーシップの重要性と国際大会への参加意義について温かい励ましをいただきました。

当クラブの武田勇次年度テーマは「楽しくなければロータリーじゃない！」です。地区目標「ロータリーに喜びを見出そう（Discover your joy in Rotary）」と歩調を合わせ、会員一人ひとりが喜びを感じられる魅力あるクラブづくりに邁進してまいります。

# ガバナー公式訪問例会報告

## 留萌ロータリークラブ　9/2(水)




古野重幸ガバナーをはじめ地区役員の皆様をお迎えし、9月2日、ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

例会に先立つ会長・幹事会では当クラブの課題や独自の取り組みをご報告し、古野ガバナーより丁寧かつ的確なアドバイスをいただきました。特に、今年度掲げているテーマ「不易流行 貢献するロータリー」の取り組みに対してお褒めの言葉を頂戴し、変化を恐れず時代に合った活動を展開していく上での大きな自信と励みとなりました。

例会でのガバナーからの卓話では、「ロータリー循環モデル」や今後のロータリーのあるべき姿についてお話しいただき、私たち一人ひとりが自身の意識を変え、新しいクラブのあり方を深く考える非常にインパクトのある時間となりました。

ガバナーを囲む会(懇親会)は、あいにくの雨により、留萌の夕日を背景にした屋外の予定から、急遽屋内へと会場を移し、BBQ形式での炉辺会合(ファイヤーサイド・ミーティング)を行いました。会員同士が膝を突き合わせて真剣に職業観を語り合う、熱気と笑顔にあふれるたいへん素晴らしい時間となりました。この活発な語り合いについてもガバナーから直接称賛のお言葉をいただき、クラブ一同大きな誇りを感じております。

厳粛な学びの時間と、アットホームで熱心な語り合いが同居したこの充実した一日を糧とし、今後も地域に貢献する奉仕活動に邁進してまいります。古野ガバナーをはじめ、大西祥太ガバナー補佐、武部幸紀地区幹事、飛騨野貴広ガバナー補佐室長、ご訪問いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

## 羽幌ロータリークラブ　9/3(木)




はぼろ温泉サンセットプラザホテルにて、例会に先立ち会長・幹事会が行われ、古野ガバナーから地区方針や各クラブの活動内容を紹介いただきました。当クラブ武田会長からは小さな町にライオンズクラブ、ロータリークラブが存在し、人口減少に伴う会員減少の実態、CLP(クラブ・リーダーシップ・プラン)による委員会の統合、ペーパーレス化の取り組み、外国人研修生との海岸清掃や植樹活動、新会員や賛助会員の取り組みなどを紹介致しました。

その後例会では、古野ガバナー他3名(地区代表幹事、第一グループガバナー補佐、ガバナー補佐室長)のゲスト参加を賜り、会員参加20名、出席率65%で例会が進行されました。ガバナー講演では、自身のロータリアン経験やオラインカRI会長のテーマ趣旨や地区方針である時間を有効的に使いながら楽しくロータリー活動をしようといった、ガバナーの構想について語っていただきました。例会終了後には、古野ガバナーを中心に全員揃って記念撮影を行いました。

## 北広島ロータリークラブ　9/8（火）




9月8日（火）私たち北広島RCに、古野重幸ガバナー、花輪博一ガバナー補佐、松下直樹地区副代表幹事がお越しになりました。

古野ガバナーには、大変フランクにお話いただき、こちらもいろいろ話をすることができました。また古野ガバナーは栗山の出身であり、当クラブの幹事も栗山出身であったことで不思議な縁を感じました。古野ガバナーには大変温かく、また会員にわかりやすい素晴らしい卓話をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

卓話で古野ガバナーが「楽しくなければロータリーではない。ロータリーを楽しもう」「親睦から奉仕が生まれる」と話され、とても腑に落ちた言葉でした。古野ガバナーからは、北広島RCは会員が明るく、とても雰囲気がいいとおっしゃっていただきました。会長・幹事はもちろん会員の皆も喜んでいました。　当クラブはまずは皆が楽しく、良い雰囲気を目指しているので、まさに「ロータリーを楽しもう」を少しは実践できているのではないかと思いました。

「親睦から奉仕が生まれる」という言葉は、私（注：櫻井遊会長）がロータリー活動を通して漠然と考えていたことで、古野ガバナーの説明を聞いて、それが「気付き」に変わりました。当クラブは新しい会員も多いため、「ロータリーとは何か」と考えている会員も多かったと思いますが、皆、腑に落ちたものがあったのではないかと思います。

古野ガバナーにお褒めいただいたクラブの雰囲気や明るさをなくさず、これからも微力ながら地域の奉仕に貢献していければと思います。古野ガバナー、誠にありがとうございました。



## 千歳セントラルロータリークラブ　9/8（火）




千歳セントラルRCは、1990年11月19日に設立、会員数は38名で内8名が女性会員になります。平均年齢は約59歳で親睦も多く、楽しく例会を行っております。クラブの特色としましては社会奉仕に力を入れ、事業として「ふれあい農園事業」「例会場周辺の清掃活動」「千歳RC合同事業ロータリーサンタ」「空港募金箱」を行っています。

9月8日、古野重幸ガバナーをお迎えし、グランテラス千歳においてガバナー公式訪問が行われました。

会長・幹事懇談会では、映像を活用して、これまでの千歳セントラルRCの活動を紹介しました。さまざまな奉仕活動の中でも、特にガバナーから関心を寄せていただいたのが「ふれあい農園」です。

ふれあい農園では、会員が地域の皆様と交流しながら米づくりに取り組み、収穫した米を市内の子ども食堂へ寄贈しています。自ら米を育て、それを地域の子どもたちのために役立てるという活動は、地域に根ざした奉仕活動として、千歳セントラルRCの大きな特色となっています。

ガバナー卓話では、今後のロータリークラブの発展に向けて、「会員増強」と「退会防止」の重要性についてお話をいただきました。会員数を増やすことだけではなく、会員一人ひとりがロータリーの活動に魅力を感じ、仲間とともに活動する喜びを持ち続けることが、退会防止にもつながるという点が印象に残りました。

今回の公式訪問を通じて、これまでの活動を振り返るとともに、クラブの魅力や地域における役割を改めて確認することができました。今後も会員同士のつながりを大切にしながら、地域に必要とされ、地域の皆様に喜ばれる奉仕活動を継続していきたいと思います。




新千歳空国国際線ターミナルに設置している募金箱を毎月回収し、浄財を円と外貨に分けています。
その作業を古野ガバナー、武部地区代表幹事、花輪ガバナー補佐にも体験いただきました。
浄財は千歳市の教育奨学金、災害支援、ユネスコ千歳支部に寄付。2011年から続く事業です。

# 第42回全国ロータリークラブ野球大会地区予選 第2510地区親睦野球大会を開催して

9月4日と5日に「第42回2026-2027年度 全国ロータリークラブ野球大会地区予選 第2510地区親睦野球大会」が開催されました。今年度は岩見沢RCがホストクラブを務め、地区内から「小樽・留萌ロータリークラブ」「静内ロータリークラブ」「滝川ロータリークラブ」、そしてホストの「岩見沢ロータリークラブ」の計4チームがエントリーし、トーナメント制で白球を追いました。

大会に先立ち、4日には前夜祭が盛大に執り行われました。会場には古野重幸ガバナーや、第3グループの島義慈ガバナー補佐をはじめとする多くのロータリアンが集い、クラブの垣根を越えて親睦を深めました。さらに特別ゲストとして、元日本ハムファイターズの鶴岡慎也さんが登場。質問コーナーやゲーム企画などで会場を大いに盛り上げてくださいました。前夜祭の挨拶に立った古野ガバナーからは、翌日の始球式における「ストライク宣言」が飛び出し、大会への期待が一段と高まりました。

明くる5日、心地よい緊張感に包まれるなか大会当日を迎えました。試合に先立って行われた注目の始球式では、古野ガバナーがマウンドへ。前夜祭での宣言通り、見事なストライク投球を披露され、球場全体の拍手喝采のなかでプレイボールとなりました。

トーナメントはどの試合も一進一退の熱い熱戦が繰り広げられました。

第1試合の「小樽・留萌ロータリークラブ」対「静内ロータリークラブ」の対戦は、6対10で静内RCが勝利。続く第2試合の「滝川ロータリークラブ」対「岩見沢ロータリークラブ」の激闘は、3対2の僅差で滝川RCが制し、それぞれ決勝へと駒を進めました。

そして迎えた決勝戦「静内ロータリークラブ」対「滝川ロータリークラブ」のカードは、2対14で滝川RCが見事に優勝の栄冠を勝ち取りました。

勝利を目指して全力でプレーする姿はもちろん、随所でロータリーらしい清々しい親睦の輪が広がる素晴らしい2日間となりました。

最後になりますが、大会にご参加いただいた各チームの皆様、球場に駆けつけ温かい声援を送ってくださったメンバーの皆様、そして当日の円滑な運営やアナウンス、審判の大役を担っていただいたすべての関係者の皆様に、心より感謝と御礼を申し上げます。（岩見沢RC　金田貴彦）



見事優勝を勝ち取った滝川RC




ユニフォームもまぶしく、りりしく整列

# 社会奉仕委員会報告 胆振東部地震復興応援プロジェクト義捐金事業の一区切り 2026は「3x3 HOPE FOR THE FUTURE」

2018年9月6日に発生した北海道胆振東部地震から、8年の月日が経ちました。国際ロータリー第2510地区「社会奉仕委員会」では、地震発生後、国内外のロータリークラブの皆様からお預かりした義捐金をもとに、特に被害の大きかった安平町、厚真町、むかわ町の3町へ毎年足を運び、その時々に地域が必要としている支援を伺いながら、仮設住宅のエアコン設置や学校の仮設校舎建設補助・備品寄贈、ケアマネージャーの移動用車輌など様々な復興支援を続けてきました。

コロナ禍により活動を控えた時期もありましたが、今回、その義捐金を活用した支援の最後の事業として、「胆振東部地震復興応援プロジェクト2026　3x3 HOPE FOR THE FUTURE」を9月21日、早来町民センターにて開催しました。今回は、3町の役場、教育委員会、地域のスポーツクラブであるアビースポーツクラブの皆様にご協力いただき、さらに3x3プロバスケットボールチームであるFUz HOKKAIDO.EXE様に主幹として大会を運営していただきました。東京オリンピック2020からオリンピック正式競技となった3x3（3人制バスケットボール）というスポーツを通じて、3町の子どもたちが楽しんで交流できる場をつくることを大切にしました。

当日は11チームが参加し、観客を含め約200名に来場いただきました。会場では子どもたちの真剣なプレーだけでなく、応援する家族や地域の皆様の笑顔も広がり、会場全体が一体となって楽しい時間を共有することができました。参加賞として3町の特産品を詰めたオリジナルトートバッグを用意し、賞品にも新米やアサヒメロン、FUz HOKKAIDO.EXEのグッズなど、地域の魅力を感じてもらえるものを取り入れました。参加された皆様にとって、思い出に残る一日となったことと思います。

今回の事業を通じて改めて感じたのは、復興とは、施設や地域の環境を元に戻すことだけではなく、「人と人とのつながり」や「地域の未来」を育てていくことでもあるということです。地震から8年。今回のイベントを一つの節目として、これまで多くの皆様からいただいた温かいご支援への感謝を胸に、これからもロータリーとして地域に寄り添い、子どもたちの笑顔と未来につながる奉仕活動を続けていきたいと思います。

「HOPE FOR THE FUTURE」という言葉のとおり、子どもたちの笑顔が、地域の未来への希望となることを願っています。（社会奉仕委員会　委員長　井元誉明）



たくさんの方が3人制バスケットを体験しました


熱のこもった試合が続きました


賞品に大喜び

# 2026-2027国際ロータリー第2510地区地区大会 プログラムと会場について

**地区大会のプログラムと会場についてお知らせします。**
**1日目と2日目で会場が異なります。ご注意ください。**

## 第1日目　10月10日(土)

会長・幹事会　13:40～14:30　札幌グランドホテル本館2階「金枝」

13:00　受付開始
クラブ代表者にクラブ登録者全員分の名札・資料をお渡しします。
点鐘、国歌斉唱、ロータリーソング、開会挨拶、RI会長代理・ご来賓・役員の紹介、ガバナー挨拶、RI会長代理ご挨拶、大会決議案上程審議、大会決議案上程承認、大会信任状委員会報告、2025-26年度決算報告、2025-26年度監査報告、大会登録委員会報告、点鐘、諸事お知らせ

地区指導者育成セミナー　14:45～17:00

14:00　登録受付開始
名札・資料はクラブ代表者にお渡し済み
点鐘、ガバナー挨拶、サヘル・ローズさんの基調講演(60分。録音・動画撮影などは禁止)、パネルディスカッション(60分)、点鐘、閉会

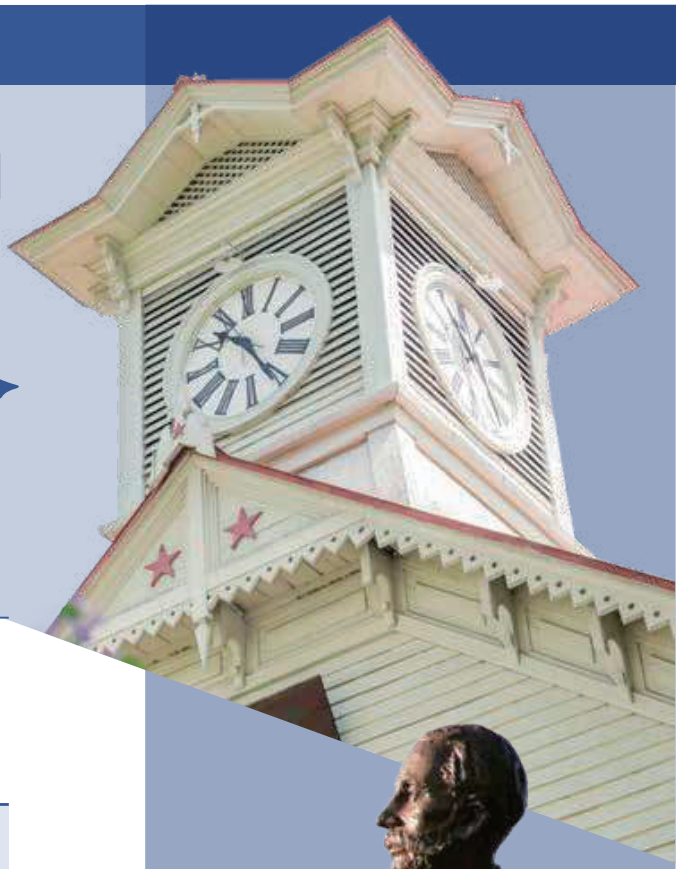
RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会&大懇親会　18:30～20:30　札幌グランドホテル2階「グランドホール」

18:00　受付開始
18:00　開場　弦楽四重奏(演奏はNiNiQURTET)でお迎え
18:30　開会　オープニングを飾るのはさっぽろ名妓連。華やぎの祝舞
19:20　祝宴　アトラクションは二つ。弦楽四重奏の演奏とりんごちゃんのショー
20:25　閉会　ロータリーソング「手に手つないで」

## 第2日目　10月11日(日)　カナモトホール(さっぽろテレビ塔すぐそば)

8:30　登録受付開始(前日不参加のクラブのみ、名札・資料をお渡し)
9:00　地区大会 本会議開会
点鐘、国歌斉唱、ロータリーソング「我等の生業」、物故者追悼、歓迎の言葉、来賓・地区役員紹介、ガバナー挨拶、北海道知事ご挨拶、札幌市長ご挨拶、参加クラブ紹介(65クラブ各クラブを舞台の大型スクリーンに投影。楽しく、華やかに、盛り上げてください!)、RI現況報告、地区現況報告、大会決議案上程、大会決議採択、表彰、ガバナーエレクト紹介・挨拶、ガバナーノミニー紹介・挨拶(ここまででおよそ11:30)
11:35　記念講演　茂木 健一郎さん(脳科学者)「脳科学からみるAIの未来」(60分)
12:45　閉会の言葉　点鐘、諸事お知らせ
13:00　閉会　全日程終了後、昼食のお弁当をお受け取りください。カナモトホールの指定場所(当日ご案内)を昼食会場として開放します。

持続可能なインパクトを生み出そう



2026-2027 ホストクラブ 札幌ロータリークラブ

# 国際ロータリー 第2510地区
# 地区大会

Discover your joy in Rotary



## 登録料

●会 員 18,000円　●ご家族 10,000円　●新世代 7,000円
●RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会＆大懇親会 15,000円
●記念ゴルフ大会 8,000円

**2026 10/10(土)　札幌グランドホテル**
札幌市中央区北1条西4丁目

- 13:40 ▶ 会長・幹事会　登録受付13:00
- 14:45 ▶ 地区指導者育成セミナー[全会員対象]
  ・基調講演
  ・パネルディスカッション
- 18:30 ▶ RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会＆大懇親会　登録受付18:00

**2026 10/11(日)　カナモトホール（旧札幌市民ホール）**
札幌市中央区北1条西1丁目

- 9:00 ▶ 本会議　登録受付8:30
- 11:35 ▶ 記念講演　閉会時間13:00

※上記プログラム及び時間は変更される場合がございます。

**2026 10/9(金)　札幌ゴルフ倶楽部 輪厚コース**
北広島市輪厚77

記念ゴルフ大会
8:05 スタート
[定員] 112名






Rotary 世界を変える行動人

2026～2027年度
国際ロータリー第2510地区
地区大会事務局

〒060-0002　北海道札幌市中央区北2条西3丁目 敷島ビル8階
MAIL　sappororc08@gmail.com　FAX 011-222-2744

持続可能なインパクトを生み出そう

# 2026-2027 国際ロータリー 第2510地区 地区大会

ホストクラブ | 札幌ロータリークラブ

Discover your joy in Rotary



国際ロータリー会長
オラインカ・ハキーム・ババロラ



ガバナー
古野 重幸



地区大会実行委員長
中田 隆博

## ご挨拶

来る10月10日(土)・11日(日)の2日間、札幌RCがホストを務めRI第2510地区の地区大会を開催いたします。2026−2027年度国際ロータリー会長オラインカ・ハキーム・ババロラ氏のテーマ『持続可能なインパクトを生み出そう』、さらには古野ガバナーが掲げたガバナーメッセージ『Discover your joy in Rotary』のもと、ホストクラブ会員が一丸となって準備にあたっております。

記念講演には、脳科学者の茂木健一郎氏をお迎えし、「脳科学から見るＡＩの未来」についてご講演をいただきます。今大会がご参加いただいた皆様にとって、お互いの友情の輪が広がり、実りの多い大会になりますよう、努力してまいる所存です。

ぜひ多くのロータリアンとご家族のご参加を心よりお待ち申し上げております。

2026-2027 / DISTRICT CONFERENCE

## 10月10日(土) 地区指導者育成セミナー 全会員対象

●基調講演

### 『出会いこそ、生きる力』



講師 俳優、タレント
サヘル・ローズ氏

イラン出身。7歳まで孤児院で過ごし、8歳で来日。舞台『恭しき娼婦』で主演を務め、主演映画『冷たい床』ではミラノ国際映画祭などで受賞。映画・舞台に加え、近年は監督としても活動し、2024年に監督作『花束』を公開。今年3月には、自身の旅を通して得た気づきを綴った新著『生きることから、すべては始まる』を刊行。国内外で支援活動も続け、2020年にアメリカで人権活動家賞を受賞。

●パネルディスカッション

### 『平和とは何か〜未来への対話〜』(仮)

アドバイザー サヘル・ローズ氏

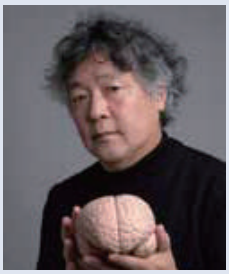
パネリスト
JICA 北海道所長 中川 岳春氏
天理大学国際学部准教授/平和フェロー1期生 小松﨑 利明氏
セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン/RI第2510地区グローバル奨学生 野元 恵理氏
RI第2510地区ローターアクト代表 佐藤 大河氏

コーディネーター 国際ロータリー 第2510地区 2024-25年度ガバナー 出村 知佳子氏

## 10月11日(日) 記念講演

### 『脳科学から見るAIの未来』

〜私たちはAIとどう向き合っていくか〜



脳科学者 茂木 健一郎氏

1962年、東京生まれ。ソニーコンピュータサイエンス研究所上級研究員。屋久島おおぞら高校校長。東京大学大学院特任教授、岐阜大学客員教授、Kyutech ARISE顧問、イマジン大学学長。東京大学理学部・法学部卒業、同大学院理学系研究科物理学専攻修了。理学博士。
理化学研究所、ケンブリッジ大学を経て現職。脳科学、認知科学、特に「クオリア」を中心とする意識の科学を研究。『脳と仮想』で小林秀雄賞、『今、ここからすべての場所へ』で桑原武夫学芸賞を受賞。近著に『クオリアと人工意識』。NHK『プロフェッショナル 仕事の流儀』キャスター、TED登壇など、メディアでも活動。近年はAI alignmentにも取り組み、意識の科学、AI、人間理解を横断し、日本発の知を世界へ発信している。

2024-2027 / DISTRICT CONFERENCE

## 10月10日(土) RI会長代理ご夫妻歓迎 晩餐会&大懇親会ステージ



ギャップものまねで大人気!
十和田奥入瀬観光大使としても活躍中!

『りんごちゃん ものまねLIVE』

タレント りんごちゃん

出 身 地：青森県十和田市
性　　別：りんごちゃん
趣　　味：歌う事、料理(中華料理限定)


Rotary
BARCELONA 2027
RI INTERNATIONAL CONVENTION
TEAM JAPAN
でつなぐ、
バルセロナへ。
友情から平和へ。
TEAM JAPAN でつなぐ、
日本のプレゼンスと世界の友情。
TEAM JAPAN to Barcelona
友情から平和への旅
台北からバルセロナへ。
世界中のロータリアンとの出会い、
再会、そして数え切れない感動。
2027年6月26日、
Barcelona Japan Nightで
お会いしましょう!
¡Nos vemos en Barcelona!
Japan Night
2027/6/26 (Sat)
(現地時間/Local Time)
RIバルセロナ国際大会 2027 スケジュール概要
開催期間：2027年6月26日(土)～30日(水)
会 場：Fira Barcelona Gran Via
(フィラ・バルセロナ・グラン・ビア)
日程 | 主な内容
6月 26日 (土) | 友愛の家オープン
6月 27日 (日) | 本会議開始・開会式予定
6月 28日 (月) | 本会議・分科会
6月 29日 (火) | 本会議・分科会
6月 30日 (水) | 本会議・分科会・閉会
世界との出会い
友情を深める
学びと気づき
持続可能な未来へ
平和への行動
感動を分かち合う
Barcelona, Spain
convention.rotary.org
#RotaryBarcelona2027

国際ロータリー第2510地区

# 米山奨学生紹介



## 屈文斌（クツ ブンヒン）

中国
札幌国際大学
江別西RC

皆様、こんにちは。

中国・江蘇省蘇州市出身の屈文斌（クツ　ブンヒン）と申します。江別西RCの皆様には大変お世話になっております。

趣味はゲームと小説です。日本語の小説を読むのがとても好きです。最近はAIチャットにもはまっています。小説やチャットで出てきたわからない単語などを調べ、覚えることで知識を増やせます。これは自分なりの勉強方法の一つです。

現在は札幌国際大学の子ども心理専攻の4年生です。高校までは理系を選びましたが、私はいつも教育系や心理学などの文系分野に興味がありました。最初は教育系と心理学のどちらを選ぶかかなり迷いましたが、子ども心理専攻を見て、両方を両立できると思って選びました。実際に入学した後は自分の想像した子ども心理とかなり違いはありましたが、座学や実践的な音楽、図工のようないろいろな授業に取り組んで、とても楽しいと感じました。

大学を卒業するまでに、保育士資格と幼稚園教諭一種免許を取得する予定です。3年生までは、卒業後は子どもを支援する施設で仕事に就く予定でしたが、保育士や幼稚園教諭のように現場で働くのが難しい病気にかかったため、今は事務職やカウンセラーのような仕事に就こうと思っています。

留学しに来た後はいつも一人暮らしのため、最初は困りましたが、段々生活に慣れてきました。長い一人暮らしの中、今後のことは全部自分で決めなければならないと意識して、自分で進路や仕事を考え、決めるのは自分のキャリアの成長にもつながると思います。とても有意義な経験です。

## 米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

### 米山功労者

伊達RC　　平口　泰章　会員　（1回）8月 7日

## ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

### マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

札幌南RC　　齋藤　友子　会員　（1回）8月31日

### ポール・ハリス・フェロー

札幌南RC　　朝妻　史江　会員　　8月31日
札幌南RC　　服部　直毅　会員　　8月31日
札幌南RC　　松山　明史　会員　　8月31日

# 新会員情報

## 静内 RC



石垣 勝英
令和8年7月1日
不動産賃貸

## 静内 RC



藤中 拓也
令和8年7月1日
コンクリート製造

## 苫小牧 RC



石川 淳介
令和8年8月7日
電気事業

## 滝川 RC



瀧田 聖子
令和8年8月20日
保険代理業

## 苫小牧 RC



鈴木 光博
令和8年8月28日
地方銀行

## 苫小牧 RC



髙野 正勝
令和8年9月11日
自動車販売

## 2029–2030年度　ガバナーノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー　古野 重幸
地区ガバナー指名委員長　出村知佳子

2029-2030年度地区ガバナーノミニー候補者として適格な会員が在籍しており、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長（地区ガバナー事務所気付）宛に、指定の書式にてご推薦ください。
（書式はガバナー事務所にお問い合わせください）
なお、地区ガバナーノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第16.010.節～第16.020.節の資格条件に適していることを要します。

[参考] 国際ロータリー細則第12条（ガバナーの指名と選挙）
国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定
（1998-1999年度地区年次大会決議第8号）
[参照]「2025年手続要欄」

# 訃　報

渡辺孝一　名誉会員（岩見沢RC）が、9月17日、享年70歳にて
ご逝去されました。謹んでお悔やみ申しあげます。



【主なロータリー歴】
1998年　3月　　入会
1998-1999年　　新世代活動推進委員会　副委員長
2001-2002年　　インターアクト委員会　副委員長
2002年11月　　退会
2013-2025・2026～　名誉会員

小川眞治　会員（札幌西北RC）が、9月1日、享年88歳にて
ご逝去されました。謹んでお悔やみ申しあげます。



【主なロータリー歴】
1993年4月1日　入会
2006-2007年度　副会長
2008-2009年度　会長

【表　彰】
ロータリー財団　メジャードナー
米山記念奨学会　第13回米山功労者メジャードナー

# 会員数・例会回数報告　8月会員増減数

| | |
|---|---|
| クラブ数 | 65 |
| 期首会員数 | 2,225人 |
| 当月末会員数(女性) | 2,283人(199人) |
| 増加会員数 | 58人 |

| グループ | クラブ名 | 例会数 | 会員数 2026.7.1 | 2026.8.31 | 増減 | 内女性 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 深川 | 3 | 26 | 28 | 2 | 2 |
| | 羽幌 | 3 | 30 | 31 | 1 | 2 |
| | 留萌 | 2 | 22 | 22 | 0 | 4 |
| | 小計 | | 78 | 81 | 3 | 8 |
| 2 | 赤平 | 3 | 17 | 18 | 1 | 3 |
| | 芦別 | 2 | 27 | 27 | 0 | 1 |
| | 砂川 | 3 | 43 | 43 | 0 | 2 |
| | 滝川 | 3 | 78 | 79 | 1 | 8 |
| | 小計 | | 165 | 167 | 2 | 14 |
| 3 | 美唄 | 2 | 20 | 20 | 0 | 2 |
| | 江別 | 3 | 32 | 35 | 3 | 3 |
| | 江別西 | 3 | 29 | 29 | 0 | 1 |
| | 岩見沢 | 3 | 94 | 94 | 0 | 3 |
| | 栗沢 | 2 | 13 | 13 | 0 | 0 |
| | 栗山 | 3 | 20 | 22 | 2 | 4 |
| | 当別 | 3 | 28 | 28 | 0 | 3 |
| | 小計 | | 236 | 241 | 5 | 16 |
| 4 | 札幌 | 3 | 110 | 131 | 21 | 3 |
| | 札幌はまなす | 3 | 27 | 28 | 1 | 3 |
| | 札幌北 | 4 | 34 | 34 | 0 | 7 |
| | 札幌モーニング | 3 | 34 | 34 | 0 | 0 |
| | 札幌西 | 2 | 41 | 40 | -1 | 8 |
| | 札幌西北 | 3 | 45 | 46 | 1 | 7 |
| | 札幌手稲 | 3 | 27 | 27 | 0 | 3 |
| | 小計 | | 318 | 340 | 22 | 31 |
| 5 | 札幌東 | 3 | 94 | 94 | 0 | 2 |
| | 札幌清田 | 2 | 9 | 9 | 0 | 3 |
| | 札幌幌南 | 3 | 62 | 63 | 1 | 8 |
| | 札幌真駒内 | 3 | 17 | 17 | 0 | 4 |
| | 札幌南 | 3 | 78 | 80 | 2 | 5 |
| | 札幌大通公園 | 2 | 13 | 13 | 0 | 3 |
| | 札幌ライラック | 2 | 11 | 11 | 0 | 1 |
| | 新札幌 | 3 | 21 | 23 | 2 | 6 |
| | 小計 | | 305 | 310 | 5 | 32 |
| 6 | 岩内 | 2 | 33 | 33 | 0 | 1 |
| | 倶知安 | 2 | 32 | 32 | 0 | 3 |
| | 小樽 | 3 | 76 | 75 | -1 | 3 |
| | 小樽南 | 3 | 47 | 51 | 4 | 5 |
| | 蘭越 | 2 | 7 | 7 | 0 | 0 |
| | 余市 | 3 | 39 | 39 | 0 | 4 |
| | 小計 | | 234 | 237 | 3 | 16 |
| 7 | 千歳 | 3 | 69 | 75 | 6 | 9 |
| | 千歳セントラル | 3 | 38 | 38 | 0 | 8 |
| | 恵庭 | 3 | 44 | 45 | 1 | 3 |
| | 北広島 | 2 | 17 | 17 | 0 | 3 |
| | 長沼 | 3 | 15 | 15 | 0 | 3 |
| | 小計 | | 183 | 190 | 7 | 26 |
| 8 | えりも | 2 | 16 | 16 | 0 | 1 |
| | 三石 | 3 | 10 | 10 | 0 | 0 |
| | 様似 | 2 | 4 | 4 | 0 | 3 |
| | 静内 | 3 | 52 | 52 | 0 | 5 |
| | 浦河 | 3 | 21 | 21 | 0 | 3 |
| | 小計 | | 103 | 103 | 0 | 12 |
| 9 | 伊達 | 3 | 49 | 50 | 1 | 2 |
| | 室蘭 | 3 | 27 | 28 | 1 | 3 |
| | 室蘭東 | 3 | 27 | 27 | 0 | 2 |
| | 室蘭北 | 2 | 44 | 44 | 0 | 1 |
| | 登別 | 3 | 31 | 31 | 0 | 2 |
| | 洞爺湖 | 2 | 9 | 9 | 0 | 0 |
| | 小計 | | 187 | 189 | 2 | 10 |
| 10 | 函館 | 3 | 66 | 70 | 4 | 4 |
| | 函館亀田 | 3 | 27 | 29 | 2 | 3 |
| | 森 | 2 | 29 | 29 | 0 | 2 |
| | 七飯 | 3 | 13 | 13 | 0 | 0 |
| | 長万部 | 1 | 9 | 9 | 0 | 0 |
| | 函館セントラル | 3 | 27 | 27 | 0 | 2 |
| | 小計 | | 171 | 177 | 6 | 11 |
| 11 | 江差 | 2 | 10 | 10 | 0 | 0 |
| | 函館五稜郭 | 3 | 50 | 50 | 0 | 1 |
| | 函館東 | 3 | 33 | 33 | 0 | 5 |
| | 北斗 | 3 | 12 | 12 | 0 | 0 |
| | 小計 | | 105 | 105 | 0 | 6 |
| 12 | 白老 | 2 | 32 | 32 | 0 | 4 |
| | 苫小牧 | 3 | 53 | 56 | 3 | 3 |
| | 苫小牧東 | 3 | 28 | 28 | 0 | 8 |
| | 苫小牧北 | 3 | 27 | 27 | 0 | 2 |
| | 小計 | | 140 | 143 | 3 | 17 |
| 合計 | | | 2,225 | 2,283 | 58 | 199 |

※岩見沢RCには岩見沢ネクストロータリー衛星クラブの会員数19名(内女性会員1名)を含む
※札幌西北RCには札幌西北ひまわりロータリー衛星クラブの会員数23名(内女性会員5名)を含む
※函館五稜郭RCには五稜郭すずらんロータリー衛星クラブの会員数5名(内女性会員0名)を含む

# 地区カレンダー（10月・11月）

| 10月　地域社会の経済発展月間/米山月間 | |
|---|---|
| 1（木） | 公式訪問（札幌西北RC） |
| 2（金） | 公式訪問（札幌ライラックRC） |
| 3（土） | 公式訪問（札幌手稲RC） |
| 4（日） | |
| 5（月） | |
| 6（火） | 公式訪問（函館セントラルRC） |
| 7（水） | 公式訪問（新札幌RC） |
| 8（木） | |
| 9（金） | 地区大会記念ゴルフ大会 |
| 10（土） | 地区大会（札幌） |
| 11（日） | 地区大会（札幌） |
| 12（月） | スポーツの日 |
| 13（火） | |
| 14（水） | 公式訪問（砂川RC） |
| 15（木） | 公式訪問（芦別RC、滝川RC） |
| 16（金） | |
| 17（土） | |
| 18（日） | |
| 19（月） | 公式訪問（札幌南RC） |
| 20（火） | 公式訪問（赤平RC） |
| 21（水） | 公式訪問（恵庭RC） |
| 22（木） | 公式訪問（美唄RC、岩見沢RC） |
| 23（金） | |
| 24（土） | 北斗RC創立30周年記念式典 |
| 25（日） | RLIセミナー　パートI（札幌） |
| 26（月） | |
| 27（火） | 公式訪問（札幌清田RC） |
| | 札幌はまなすRC創立35周年記念式典 |
| 28（水） | |
| 29（木） | 公式訪問（千歳RC） |
| 30（金） | |
| 31（土） | |

| 11月　ロータリー財団月間 | |
|---|---|
| 1（日） | |
| 2（月） | |
| 3（火） | 文化の日 |
| 4（水） | |
| 5（木） | |
| 6（金） | |
| 7（土） | |
| 8（日） | |
| 9（月） | |
| 10（火） | 公式訪問（札幌はまなすRC、栗山RC） |
| 11（水） | 公式訪問（札幌RC） |
| 12（木） | |
| 13（金） | |
| 14（土） | |
| 15（日） | |
| 16（月） | |
| 17（火） | |
| 18（水） | |
| 19（木） | |
| 20（金） | |
| 21（土） | |
| 22（日） | |
| 23（月） | 勤労感謝の日 |
| 24（火） | |
| 25（水） | |
| 26（木） | |
| 27（金） | |
| 28（土） | |
| 29（日） | |
| 30（月） | |
| 31（火） | |

# 【表紙について】




地域社会の経済発展

「地域の未来をつくる力」を高めるために、
ロータリー会員は起業家の育成やスキル指導、
就職支援を通じて、人びとの経済的・社会的自立を後押ししています。

北海道の花

エゾノコンギク（Aster　microcephalus var. yezoensis）
蝦夷野紺菊。キク科シオン属の多年草。
北海道から本州北部にかけて自生する野菊の一種。
草丈は50～100cm。茎の上部でよく分枝し、直径2～2.5cmほどの頭花を多数つける。
中心の筒状花は黄色、周りの舌状花は淡紫や青紫色。北海道の秋の野山を代表する花のひとつ。
撮影と解説　大原　雅（札幌RC）